

子育てを  
応援します

## 青森市家庭教育支援チーム



私たち青森市家庭教育支援チーム（青森市家庭教育サポーター連絡会）は、平成14年度から「青森市内で子育てをしている保護者の皆さんのお役に立ちたい！」という熱い思いを持ち続け、青森市教育委員会と協働で活動しています。平成23年度からは、講座の受講生だったメンバーを迎え、青森市教育委員会より家庭教育支援事業を受託し『青森市子育てサポートセンター（サポセン）』の運営をしています。

サポセン活動は、子育て講座（『きらきら塾』と発達障害に関する『うとう塾』等）の企画運営を通して、「学びの場」の提供と情報発信・相談、市内の小・中学校で行われる「家庭教育学級」の運営サポートを行っています。

## 活動拠点を置く市町村

青森市：人口 281,388 人（令和元年12月1日現在）

## 活動範囲

青森市内全域、小中学校区 など

## 活動開始月日

平成23年4月

## 構成員

10人（支援活動経験者4人、子育て中の保護者6人など）

## 活動形態

- 保護者への学びの場の提供
- その他（家庭教育の情報提供・発達障害への理解と情報提供・相談業務・家庭教育学級のサポート・『親楽プログラム』の講師）

## 活動対象

- 小学生（低・中・高学年）
- 中学生
- 発達障害児(者)の子どもを持つ保護者

## 活動の目的・趣旨

- 学びをとおして、保護者の皆さんと共に家庭教育の充実を図ることを目的とします。
- 知ることは、変わること！正しい情報は力になり、明るい子育てに繋がることを目指します。
- 「子育ては自分育て」を合言葉に、子どもの成長段階に応じた内容を学び、保護者と私たち地域の大人が、未来を切りひらく子どもたちのためにできることを見つめ直す「学びの場」を提供します。
- 青森市内の小・中学校PTAが実施する家庭教育学級の運営をサポートすることをおして、家庭教育学級の意義と役割が子どもの健やかな成長の一助となることを、運営するPTA役員等に周知します。

## 主な活動内容

- ①家庭教育(しつけ・生活習慣・食育など、保護者が行う家庭内での教育的行為)や発達障害への理解と対応などの学習機会の提供
- ②通信やブログでの情報提供
- ③相談業務
- ④市内の小・中学校での『家庭教育学級』の運営サポートや講師紹介など

## 学習内容の事例紹介

- ・インターネットに潜む危険性
- ・命の大切さを学ぶ教室
- ・小学生と保護者のための思春期健康教室
- ・発達段階に応じた子どもへの接し方
- ・家庭でも実践しよう!あおもり型給食!
- ・子育てハッピーマネー講座
- ・ふれあい餅つき交流会

〈家庭教育学級実施報告書より一部抜粋〉



## 活動の成果と今後の展望

家庭教育の充実を図ることを目的に、参加者のニーズを取り入れながら講座内容の見直しを行うことで年々需要が高まっています。また、学校関係者やPTAを対象とした家庭教育学級の説明会を開催し、講座実施校の事例紹介や食育・いのちのお話出前講座、防災講座等の公開プレゼンテーションを実施することで、活動が小・中学校を中心に地域全体へ広がってきています。しかし、講座の運営継続には課題があり、共働きの保護者の増加により参加者の集客・スタッフの確保に苦勞する現状があります。今後は開催日時や講座内容の検討を重ねるとともに、活動が充実すれば活動時間が長くなるというスタッフの働き方の観点からも検討を重ね、活動を継続・発展できるような運営体制の構築が必要となります。

